

1 教科等名 総合的な学習の時間

2 単元名 将来の自分について考えよう

3 (1) 武蔵野市民科で育成する主な資質・能力 自立 社会参画 3 (2) 詳細項目 自己理解・自己管理 よりよい地域・社会づくりに向けた課題解決能力

地域や社会的課題などへの理解

4 単元の目標

○知識・技能の習得	①自分自身を客観的に分析することを通して、自分の長所や短所を把握することができるようにする。 ②様々な職業について調べ、社会を支える仕事の存在について知ることができるようにする。
○思考力・判断力・表現力等の育成	①働くことの意義について考え、自分なりの意義を見いだすことができるようにする。
○学びに向かう力・人間性等の涵養	①働くことや職業についての興味や関心を高める。 ②社会を支える人々の存在に感謝の気持ちをもつことができるようにする。

5 単元計画

ねらい	時数	主な学習活動	関連教科 関連団体（連絡先等）
社会にはどんな仕事があるのか話し合い、働くことはどういうことかを考える。	2	○社会には、どのような仕事があるのかについて話し合う。 ○働くことの意義について話し合う。	
自分の長所や短所について分析することを通して、自分の特徴を把握する。	4	○ウェビング等の思考ツールを活用して、自分の長所や短所を分析する。 ○友達との相互分析を通して、自分自身を客観的に捉える。	
自分が興味をもっている仕事について調べる。	4	○職業図鑑やインターネットを使って、興味がある仕事について調べる。 ○調べた仕事のやりがいや自分の長所の生かし方について自分の考えをもつ。	東京都職業能力開発協会 東京都印章技能工会
各自が調べてまとめたものを一つにまとめる。	2	○学習者用コンピュータのスライドを活用し、調べたことをまとめる。 ○まとめたものを発表し合い、感想を交流する。	
合計時数			12 時間

6 指導上の工夫（①課題設定→②情報収集→③整理・分析→④発信・実行のサイクルが実現する工夫や手だて等）

○社会にはどんな仕事があるのかや働くことの意義について話し合うことで、興味・関心のある仕事や働くことへの考えが異なることに気づき、「なんのために働くのだろう。」という課題を、児童自身が設定することができるようにした。
○自己の興味・関心だけではなく、自分の分析した結果をもとに仕事について調べることで、自分自身を客観的に見つめることができるようにするとともに、より具体的に仕事について考えることができるようにした。
○スライドにまとめたことを友達と交流し合う活動を設定し、互いの考えを深めたり、活動への目的意識をもつことができるようにした。

7 単元の振り返り

成 果（児童・生徒の変容等）	課 題	改善策
<p>○自分自身を客観的に分析することを通して、自分の長所や短所を把握することができるようになった。多くの場面で客観的な見方ができるようになった。</p> <p>○友達との交流活動を通して、多様な考えや価値観を認め合うことができるようになった。周りの人の思いや状況をおもんばかるようになってきた。</p>	<p>○スライドにまとめるときに、文字が多くなってしまい、伝え方が不十分となった。自分の思いや考えを十分に表すことができていなかった。</p> <p>○調べ学習が中心の単元だったので、体験的な要素が少なかった。ゲストティーチャーを呼ぶなどの工夫が必要だった。</p>	<p>○ゲストティーチャーを呼んで話を聞いたり、職業体験などの体験的な活動をさらに取り入れたりとよい。</p>